

令和2年度 第1回 長野県総合教育会議

2020.9.14. @長野県庁3階特別会議室

資料2

新しい時代の新しい学びの推進 —「高校改革～夢に挑戦する学び」—

長野県教育委員会事務局
高校改革推進役
内堀 繁利

SDGs未来都市

気候非常事態宣言

ゼロカーボン宣言

Today's Menu

I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

II 新しい時代や社会では、何が大事なのか？

III 長野県が目指す「新しい学び」とは？

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

Today's Menu

I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

II 新しい時代や社会では、何が大事なのか？

III 長野県が目指す「新しい学び」とは？

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

グローバル化の進展・
小さくなる地球

COVID19は、本当に
あっという間に世界中
に広がったね

地球温暖化など、一国では
解決できない
問題の増加

海水温の上昇で「過去最
大級」の降雨や台風が毎
年起きる可能性があるん
だってさ

少子化超高齢化・
社会保障費の増

日本はこの5年で、15歳未満
が102万人減って、65歳以上
が288万5千人増えたって
(H26.10.1⇒R1.10.1)

コロナの影響もあつ
て、飲食店で、調理
ロボや配膳ロボが
増えたってね

機械化の進展

無人のコンビニも
増えてるっていうよ

雇用の減少・
形態の変化

家電はもちろん、カーテンや
玄関ドアの開閉もスマホで
できるんだって

Society 5.0
(超スマート社会)

完全自動走行車も「空飛
ぶクルマ」ももうじき実
用化されそうだね

AI・IoT等
新技術の発達

iPS細胞を使って、重症の心
不全やパーキンソン病の治
療も始まっているんだって

医療の超高度化・
人生100年時代

I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

グローバル化の進展・
小さくなる地球

COVID19は、本当に
あつた

VUCAの時代
(変動・不確実・複雑・曖昧)

コロナの影響もあつて、飲食店で、調理
機や配膳ロボが
増えてたってね

機械化の進展

地球温暖化など、一国では
解決できない
問題の増加

海水温の上昇で「過去最
大級」の降雨や台風
年起きる可能
だつた

予想困難な時代・
正解が1つでない時代

無人のコンビニも
増えてるっていうよ

雇用の減少・
形態の変化

少子化超高齢化・
社会保障費の増

日本はこの5年で、
人口が102万人減って、
高齢者が288万5千人増えた
(H26.10.1⇒R1.10.1)

誰も経験したこと
のない社会

もちろん、カーテンや
エアコンの開閉もスマホで
できるんだって

Society 5.0
(超スマート社会)

完全自動走行車も「空飛
ぶクルマ」ももうじき実
用化されそうだね

AI・IoT等
新技術の発達

AIを使って、重症の心
不全やパーキンソン病の治
療も始まってるんだって

医療の超高度化・
人生100年時代

「これまでと同じことをやっていたんでは、
どうもうまくいかないな、これは。」

Today's Menu

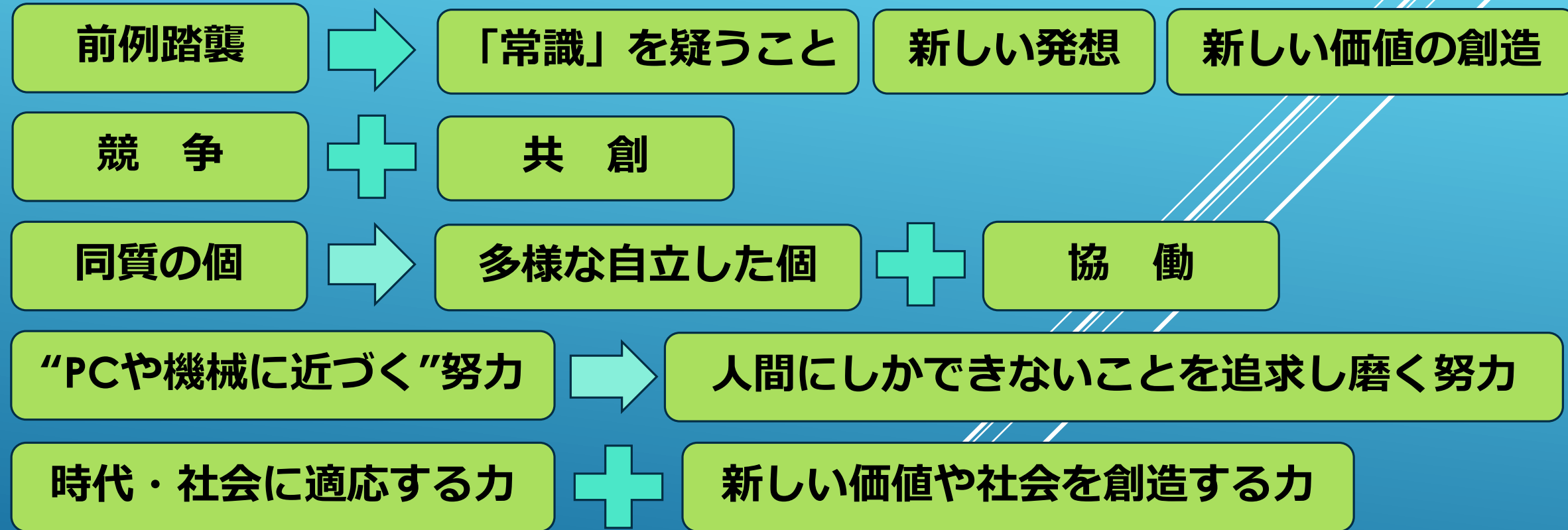
I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

II 新しい時代や社会では、何が大事なのか？

III 長野県が目指す「新しい学び」とは？

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

Ⅱ 新しい時代や社会では、何が大事なのか？(1)



The best way to predict the future is to invent it. (Alan Kay)
未来を予測する最善の方法は、それを創り出すことである。(アラン・ケイ)

上智大学教授 那須 正裕 著 『時代の学びを創る知恵とワザ』(ぎょうせい)

もしかすると、はるか後世の人々が描く教育の歴史では、
「正解」の量的蓄積とその型通りの運用を「学力」と見なし、
さらに教科ごとに分断した上でわずか数十分のテストで
測っては、

そのスコアで人生の行方から時には人間の価値まで決めてしまおうなどという…

長い人類史上十八世紀終盤から二一世紀初頭にかけての
わずか二百数十年間にのみ存在した、

と記されるかもしれない。多分にSF的ではあるけれど… (下線は内堀)

Ⅱ 新しい時代や社会では、何が大事なのか？(2)

最上位の目標

一人ひとりが、豊かで幸福な人生を送り、よりよい社会の創り手となること

個人と社会のWell-beingの達成

※Well-being: 幸福、良好な状態、満たされた状態



1. 一人ひとりが、**そのために必要な力(資質・能力)**と意思を持つこと

2. 一人ひとりのいのちや願い、そこから立ち上がることを大切にすること

Ⅱ 新しい時代や社会では、何が大事なのか？(2)

必要な力(資質・能力)

文部科学省
3つの柱

知識・技能

思考力
判断力
表現力等

学びに向かう力
人間性

OECD
学びの羅針盤
2030

新たな価値を
創造する力

責任ある行動を
とる力

対立やジレンマに対処
する力

長野県
実施方針

自ら問いを立て、協働
して解を見つけ、新し
い価値を主体的に
創造する力

自分の人生の構想力
キャリアデザイン力

信州に根差した確か
なアイデンティティと
世界に通じる広い
視野・力

Today's Menu

I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

II 新しい時代や社会では、何が大事なのか？

III 長野県が目指す「新しい学び」とは？

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

Ⅲ 長野県が目指す「新しい学び」とは？

「新しい時代」に必要な力(資質・能力)を育むための

○「探究的な学び」(主体的・対話的で深い学び、AL)

○「個別最適な学び」(生徒個々に合った自律的な学び)

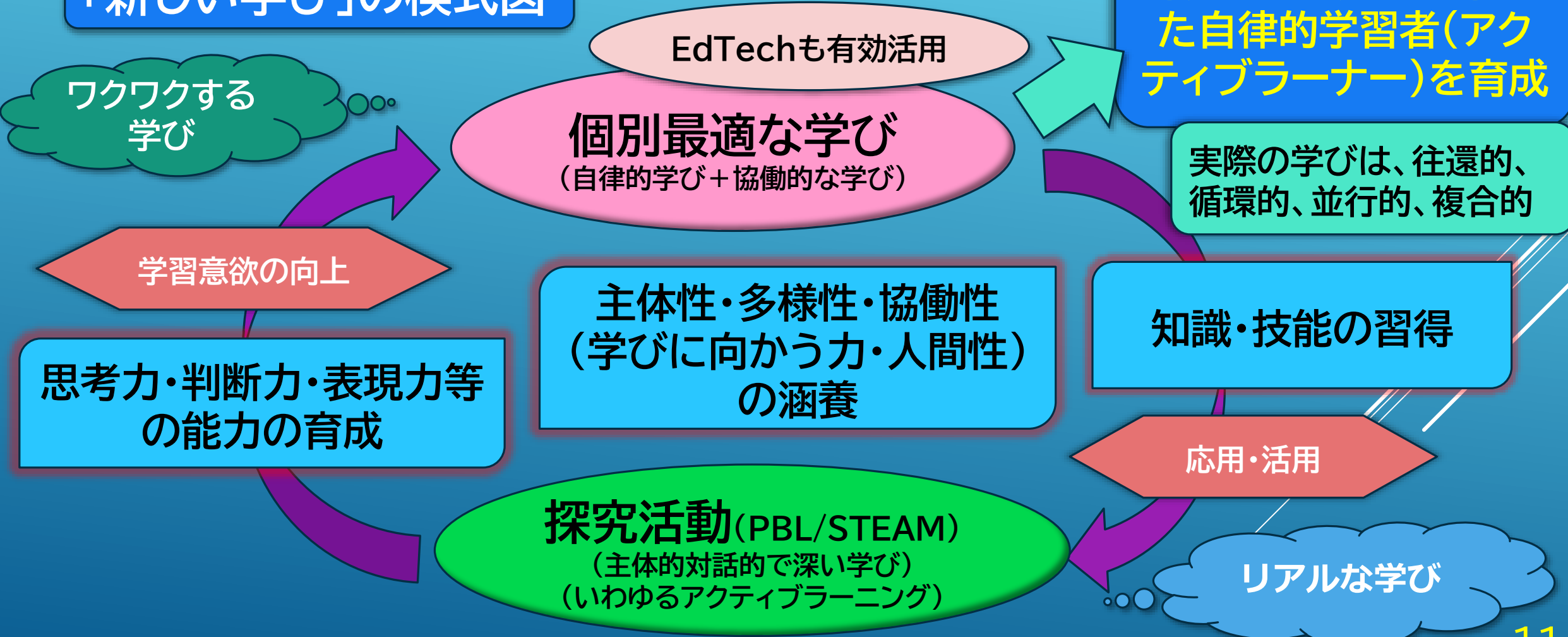
○学校内外の多様で異年齢の人々との「協働的な学び」

○個々の生徒と結びつき現実社会と一体となった「リアルな学び」

○感動や発見にあふれた「ワクワクする学び」

III 長野県が目指す「新しい学び」とは？

「新しい学び」の模式図



学びの改革によって目指す学校の姿

教員（指導者）主導の「教育」

生徒（学習者）主体の「学び」

学校に閉じた、
頭の中の「勉強」

現実社会と一体的で、
Actionを伴った、市民としての「学び」

集団を成立させるための
同質的な個の育成

一人ひとりの存在やいのちから立ち上がる
多様な自立した個の尊重

うまくいくこと、
競って勝つことの追求

チャレンジすること、失敗することと
共に考え創ることの推奨

Equality（平等）の提供

Equity（公正）の提供

同調圧力により、
いることがつらい場所

自己開示や対話により学びを深められる、
楽しくて、行きたい場所

他者との比較による
相対的・偏差値的評価

構築した自分軸に基づき
自分の成長が実感できる指標

新しい時代における
学校・教育の
意味や価値の追求



新しい学びの指標

Today's Menu

I 「新しい時代」～我々はどんな時代や社会を生活しているのか？

II 新しい時代や社会では、何が大事なのか？

III 長野県が目指す「新しい学び」とは？

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

「高校改革～夢に挑戦する学び～ 実施方針」

6本の柱

「新たな学び」と「新たな学校づくり」を一体的に推進

○新たな学びへの転換

- ・ 探究的な学びへの転換と推進
- ・ 各学校が3つの方針の策定と運用
(生徒育成方針、教育課程編成・実施方針、生徒募集方針)
- ・ 高校入試制度改革 など

○新たな学びにふさわしい環境の整備

- ・ 学習環境・生活環境の整備
(空調設備、洋式トイレなど)
⇒さらに「学習空間デザイン検討委員会」
- ・ ICT環境の整備充実
(電子黒板、タブレット等の導入推進) など

○多様な学びの場、学びの仕組みの整備充実

- ・ 新しいタイプの学校の充実拡大
- ・ 多部制単位制の充実拡大・通信制の改革
- ・ モデル校(研究校・実践校)指定・実践研究
- ・ ICT(EdTech)積極的活用
- ・ 高校間連携・高大連携推進
(オンラインで他校授業受講、単位互換) など

○少子化の進行への的確な対応

○多様な学びの場を全県に適切に配置

○地域の検討を受け再編整備計画策定¹⁴

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

例えば、ICT環境の整備・充実

5年間で全県立高校の環境整備(今年度完了)

全普通教室に
電子黒板・
教材提示装置

40台のタブ
レット端末

大型プリンタ

テレビ会議
システム



全教員・生徒が1人1アカウントを取得可能な環境を整備(完了)

今後の計画



全高校に教員研修のためのGIGAスクールサポーターを派遣(まもなく開始)

希望する家庭に端末とモバイルルーターを貸出し(準備完了)

全高校の普通教室にWi-fi環境整備(今年度中)

全高校に生徒3人に1台の端末を整備(今年度中)

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

例えば、通信制の改革

新しいタイプの通信制を設置

望月サテライト (2020.4.開校)

これまで

教科書で自学自習

週1回程度の通学

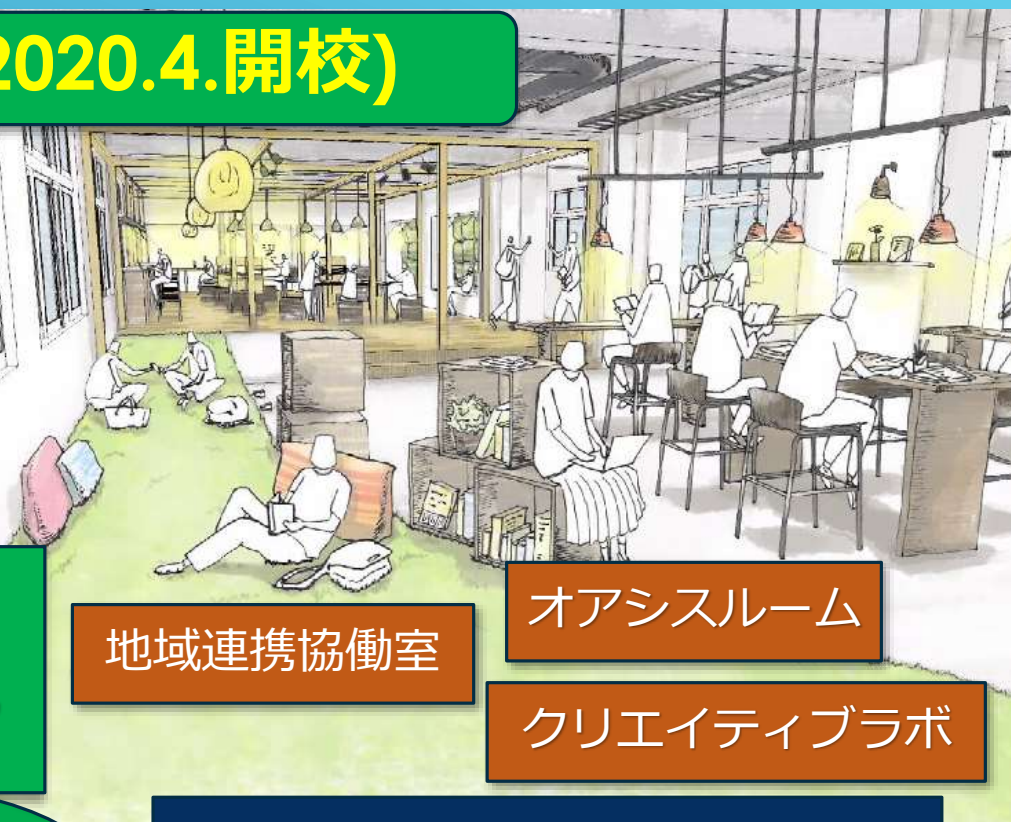
紙ベースの提出課題
を評価・試験を実施

EdTech活用により
個別最適化

希望により
毎日登校も可能

探究活動や
人とのつながりを重視
(地域連携協力隊)

自由とサポート
両面を拡充



地域連携協働室

オアシスルーム

クリエイティブラボ

長野西高校通信制望月サテライトの空間イメージ

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

先のさらに
その先へ

例えば、県独自の実践校の指定(県を牽引する先進的・先端的学び)

スーパー探究校
(野沢北高校)

信州型グローバル
ハイスクール
(須坂高校)

国際カリキュラ
ム研究校
(飯田風越高校)

高度産業教育
推進校
(木曾青峰高校)

少人数学級
研究校
(坂城高校)

骨太リーダー
育成校
(松本深志高校)

文部科学省

SSH

(飯山高校)
(屋代高校)
(諏訪清陵高校)

地域協働

(長野高校)
(飯田OIDE)
長姫高校)
(白馬高校)

WWL

(拠点校の
上田高校
はじめ11校)

経済産業省

「未来の教室」
<モデル自治体>
(坂城高校)
(軽井沢高校)



国のモデル
校の活用

IV 長野県が目指す「新しい学び」の具体とは？

所属校の枠を超えて学びたい生徒が乗れる

例えば、県内すべての高校生対象の「プラットフォーム」の構築

2016 生徒の主体性を育む夏合宿(×県高校長会)+’17 県議会との意見交換

2018 高大連携プラットフォーム(×知事部局×県内大学コンソーシアム)

2018 海外留学支援・信州つばさプロジェクト(+高校生推進メンバー)

2019 全国高校生マイプロジェクトアワード長野県大会+関連プログラム

2020～ WWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム構築(×文部科学省)

2020～ SDGs探究プラットフォーム(×知事部局×信州SDGsプラットフォーム企業)

2020～ 高校生起業家クラブ(仮称)(×県立大×KDDI)

例えば、新しい学びにふさわしい新しい学習空間

県立学校学習空間検討委員会最終報告から

予測困難な時代に、
どんな状況が生じて
も対応できる柔軟な空間を創出

現行の校舎



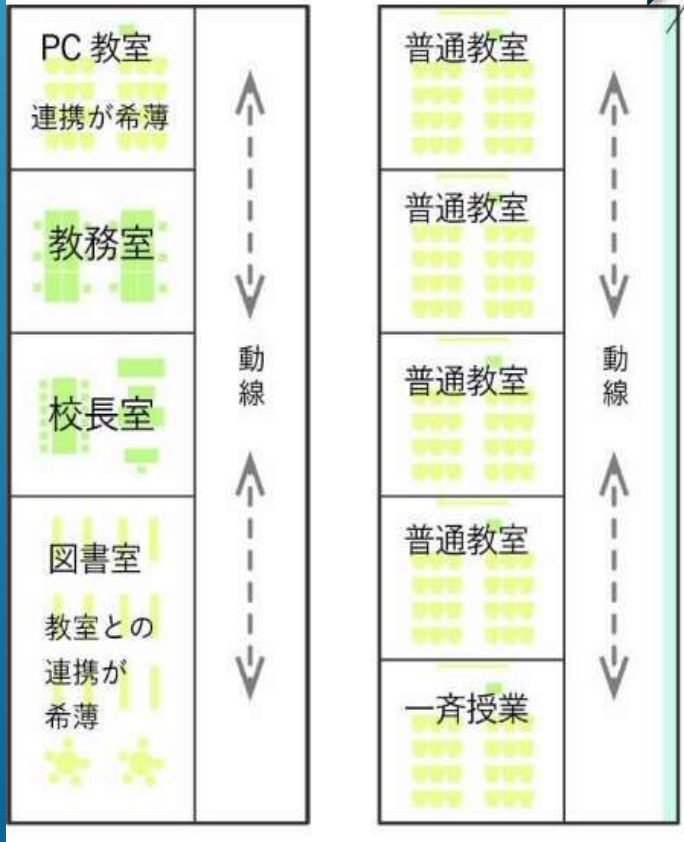
これからの校舎

学習空間

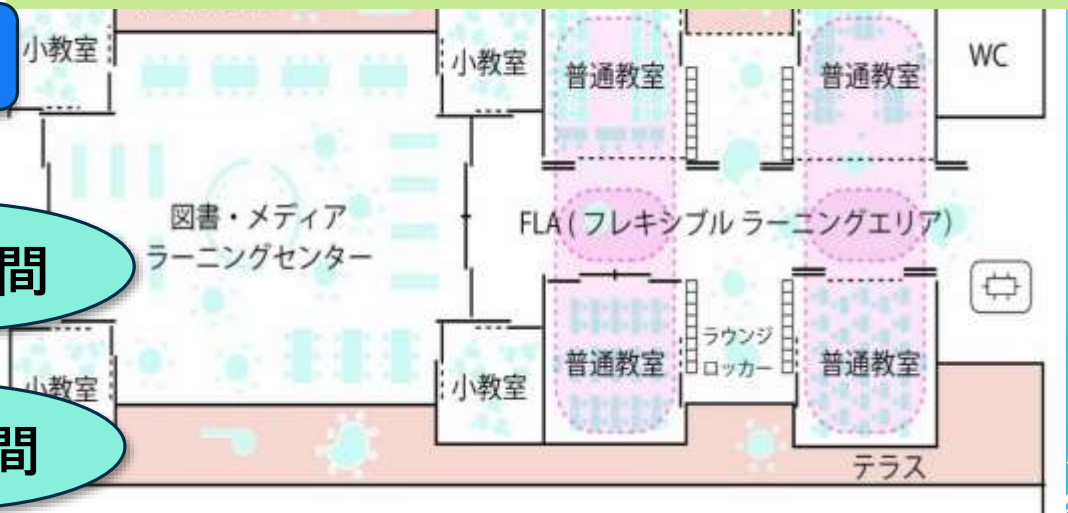
生活空間

執務空間

共創空間



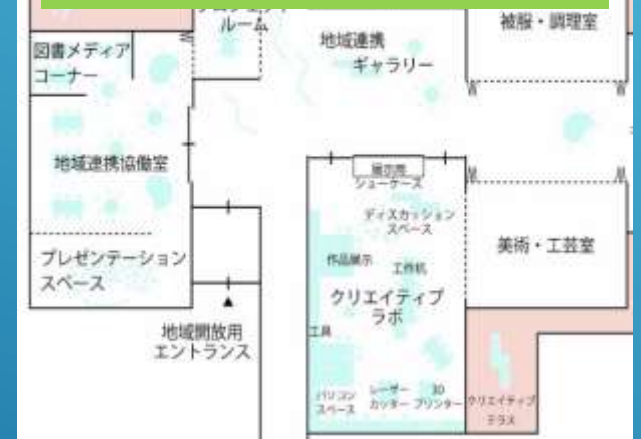
普通教室及び図書メディアラーニングセンターイメージ図



特別教室及び管理諸室ゾーンイメージ図



地域連携ゾーンイメージ図



例えば、新しい学びにふさわしい新しい学習空間

①学習空間:図書メディアラーニングセンター



②学習空間:小教室



③FLA(フレキシブルラーニングエリア)



④生活空間:ラウンジ・ロッカー



⑤執務空間:大職員室



⑥共創空間:地域連携協働室



まとめ

(最上位の目的) 個人と社会のWell-beingの達成

探究の手法を身に付けた自律的学習者(アクティブラーナー)を育成

資質・能力
3つの柱

思考力・判断力・
表現力等

知識・技能

学びに向かう力・
人間性

これからの時代に必要な 新しい学び

探究的な学び

個別最適な学び

協働的な学び

リアルな学び

ワクワクする学び
など



新しい学びに適した 新しい学習空間

教育行政・
学校の役割

そのための「環境」と多様な「選択肢」を整備すること

FIN...

